

国所有：文化庁保管
写真提供：埼玉県教育委員会

資料名　画文帯環状乳神獣鏡

よみがな　がもんたいかんじょうにゅうしんじゅうきょう

時　代　古墳時代

大きさ　長さ約15cm

出土場所　行田市　稲荷山古墳



指定区分　国宝

解　説　稲荷山古墳から出土した副葬品で、金錯銘鉄剣と同様、1983年に国宝に指定されました。

外側には月と太陽や雲、内側には不思議な力を持つと考えられていた動物や昔の中国の人が考えた、修行をして特別な力を身に付け不老不死になった人の文様が表現される銅製の鏡です。

同じ文様の鏡は群馬県高崎市八幡観音塚古墳など、全国で6面が知られています。

（参考：さきたま史跡の博物館 HP）

古墳時代には、他にどのような鏡があったのかな？調べてみましょう。